

同窓会との出会い ～そして私の生き方は～

「総会に駆けつけてくれた後輩と出会い、気持ちがシャキッとしました。二葉の同窓生で良かった。これから、胸を張って誇りをもって生きていきたいです。」

「同窓会きっかけで同級会を開きました。狭くなりがちな人間関係に良き高校の新しい出会いを得ることができました。」

「同窓会の活動の間、息子と話が弾みました。二葉に対して愛着をもち、誇りをもてる喜びを感じました。」

「かつての部活の先輩に声をかけられ、直立不動となって同窓会をお受けしました。先輩とのつながりを今も感じます。」

「同窓会の活動で高校時代の思い出が蘇りました。高校の思い出があったので、今の職場にいられます。」

「二葉生として恥ずかしくない老後を過ごしたいと思います。」

「同窓会は敷居が高かったのですが、自分がロビーコンサートに関わって素晴らしい事業をしていると感じました。」

「学校へ行けて大根坂の道に埋められたタイルも嬉しく、活動を共にできたことも嬉しかったです。」



10月2日(日) 諏訪二葉高等学校同窓会松本支部総会参加 ～深志神社 梅風閣～

同窓会役員として活動を始めてから半年、無我夢中で日々を過ごしてきた私たちの心に真つすぐに光を与えてくれるような言葉の数々。ここは、松本深志神社に併設されている『梅風閣』。秋雨の合間10月2日(日)、諏訪二葉高等学校同窓会松本支部総会でのことです。

『同窓会との出会いによってご自分の気持ちや考え方がどのように変わったか』会場から次々とお話ができました。その言葉の一つ一つは、おいしいお料理をさらに彩り会食を闊達にしてくれました。『高女である私の名簿が残っているのがあるがたい。』と語って下さった高女の先輩からは、『紋付袴の入学式』や『マッカーサー指導』等まさしく貴重なお話を拝聴いたしました。高女の方々の参加は、私たちの喜びと希望そのものです。

平成28・29年度松本支部長としてやさしくかわいらしいお声で挨拶してくださった山田祐子さんは、『あずみ野エフエム』のラジオパーソナリティーをいらっしゃいます。

「私はもともと人前でお話しするタイプではありませんでしたが、同窓会での活動をしています。ロビーコンサートがとっても素晴らしかったです。脱会の連絡もある現状で魅力ある同窓会を目指したく、ホームページで支部会員との交流を願っています。高女の方の参加が大変嬉しいです。」

と同窓会への目標や出席して下さった方々への思いを語ってくれました。

学校からは腰原英徹教頭先生、本部役員として竹原光子会長、小林真里枝副会長、小林佐江副会長計4人で参加いたしました。腰原英徹教頭先生からは、二葉高校の近況として資料をもとにお話がありました。『生徒の出身小中学校・本年度大学合格状況・平成27年度学校評価集計』の細かい表やグラフに食い入るように見入っていらっしゃる会場の皆様、その真剣な心根が二葉の教職員や生徒達に伝わりますようにと願いました。また、『新聞記事(熊本地震募金活動)(二葉祭)(初代校長岩垂朝吉発見:平島佐一先生発見、竹花光子会長墓参同行)(ロビーコンサート)』の紹介では、温かく頷く表情が伺われ、母校に対する日頃の関心の高さを改めて実感しました。

竹花会長は、「松本支部は昭和28年4月26日に設立いたしました。」と冒頭に挨拶をし、支部63年の歴史に敬意を表しました。その年数に対する会場の皆様の頷きには、支部の歴史の重さに応えようとする決意が表れていました。今年度半年間の本部活動について説明や、来年度110周年行事への協力をお願いに対しても真摯で温かいまなざしを頂き、ねぎらいや協力の意をありがたく感じました。

その後、松本支部規約・26/27年度事業報告・会計報告・27/28年度事業経過報告、事業計画・会計中間報告、会計予算案と滞りなく議事が進みました。会費納入への悩みは他の支部と同じく、今後の広報の必要性が語られました。

手回しオルゴールと歌のミニコンサート～白井 則孔(うすいのりこ)さん～

安曇野出身で現在下諏訪在住の手回しオルゴールシンガー白井則孔さんに、『アメージンググレイス』『蘇州夜曲』『にっぽん昔ばなし』を、やさしい手回しオルゴールの音にのせて、甘くやさしい声で歌っていただきました。『ひとつの命』では、会場の皆さんの声が『ひとつの命、大切な命、みんな、みんな同じ、同じ』と重なりました。『その昔、泉小太郎は諏訪湖の龍神であった母の背に乗り松本周囲の山に体当たりをして諏訪湖の湖を引き入れた。その水のお陰で作物が実り松本は豊かな盆地となったそう。』松本と諏訪湖の繋がりには古き伝説にもありました。

記録 小林佐江